

第9回新居浜市レジ袋削減推進協議会議事録

1 開催日時 平成23年11月28日(月) 14:00～15:45

2 開催場所 新居浜市役所本庁舎5階大会議室

3 出席者

(新居浜市) 会長 曾我(環境部長)

事務局 藤田(環境部総括次長)、本田(ごみ減量課長)

中西(ごみ減量課副課長)、近藤(ごみ減量課)

(スーパー) コープえひめ、(株)フジ、マックスバリュ西日本(株)

(市民団体等) にいはま環境市民会議、にいはま消費者友の会

新居浜商工会議所、グループさつき生活学校

4 欠席者

(スーパー) (株)木村チェーン、イオンリテール(株)、(株)ママイ、(株)マルナカ

(株)マルヨシセンター

(ドラッグストア) レディ薬局(株)、(株)大屋マック

(ホームセンター) ダイキ(株)

(市民団体等) 新居浜市女性連合協議会

5 報道関係

2社

6 内 容

(事務局)

みなさんこんにちは、定刻が参りましたので、ただ今から第9回新居浜市レジ袋削減推進協議会を開催いたします。

まず初めに、本日の出席状況ですが、スーパーの木村チェーンさん、イオンさん、ママイさん、マルナカさん、マルヨシセンターさん、ドラッグストアのレディ薬局さん、マックさん、ホームセンターのダイキさんからは、欠席との連絡をあらかじめいただきました。

また、本協議会は公開を原則に開催いたしております。

それでは、以下議事は会長にお願いします。

(会長)

みなさんこんにちは。

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。先月の会か

らあまり期間は経っておりませんが、引き続きましてレジ袋無料配布中止の協定の見直しであったり、キャンペーン等活動内容につきまして皆さんのご意見をお伺いさせていただけたらと考えておりますのでよろしくお願いたします。

それでは、前回皆さまからお伺いたしましたご意見につきまして事務局の方で取りまとめておりますので、まずその内容につきまして事務局からご説明させていただきます。

事務局説明

(会長)

次のページの6, 7につきましては、次の議題でご説明させていただきますので今説明のありました1から5につきまして、何か問題等ございませんでしょうか。

(コープ)

質問なのですが、指定袋の導入について市民の理解が得られないと考えていらっしゃる理由というのは何でしょうか。

(事務局)

レジ袋の無料配布中止と合わせて家庭ごみの一部有料化を計画いたしまして、市民へも説明をいたしましたが、様々なご意見をいただきまして、結果、先送りすることを決定しております。連合自治会等から先送りの要望書を頂いたこと等も先送りを判断した要因の一つなのですが、ごみの減量を先に取り組みべきではないか、分別の変更を先にすべきではないか、経済情勢が厳しいときに負担が増えるのは理解が得られないのではないか、等のご意見を踏まえて判断した上で先送りするという結論に至った、という経過がございますので、改めて指定袋化、ごみ袋の有料化のことを市民へどのように再提起するのかを考えざるを得ないという状況でございます。そのような意味で資料には書かさせていただいております。

(コープ)

それは5年ほど前の話ですよ。

(事務局)

平成21年の10月から有料化という計画で話を進めておりましたので、20年度の校区集会等で市民へは説明させていただきました。

(消費者友の会)

西条、四国中央市は市民団体からの要望でなければ、市同士で話し合いはできないのですか。

(事務局)

愛媛県の循環型社会推進の会におきまして、愛媛県が取りまとめて実施してはどうかとの意見が出たのですが、キャンペーン活動等を先行して実施しておりました中予地区でできないか、ということで県からも働き掛けをされたようです。事業者へのアンケート等もされて、足並みが揃わないということで実現に至らなかったという事例もありまして、提起はできるけれどもあくまで市の政策ですので各市の判断になります。という意味で書かさせていただいております。

(商工会議所)

西条市でゴミ袋一定枚数無料配布とありますが、一定枚数というのは何枚ですか。

(事務局)

燃やすごみが100枚か110枚、不燃ごみが20枚くらいです。

(商工会議所)

その枚数というのは年間ですか。

(事務局)

各家庭1年間の枚数です。家族数が多い場合は申し出れば多めにいただくことができると伺っております。燃やすごみの袋が週に2回1袋ずつ位はあるということになります。不燃ごみが確か20枚でしたので、月に2枚で少し足りないくらいです。そして粗大ごみの処理券が10枚になります。

(商工会議所)

そのくらいあれば充分ですね。新居浜では、ゴミ袋を一定枚数無料で配布するというのは難しいのですか。

(事務局)

ごみの有料化の計画のときはごみ減量の動機としていただきたいということで、1枚目から40リットルの袋で40円程度という比較的高めの値段で設定いたしました。西条の方式につきましては枚数にもよるのですが、余るほど配布したのではごみ減量の動機としては弱いということと、経費的にも市の持ち出しが増大するというところで全国的

にも事例としては1枚目からある程度の金額で有料であるという方式が多い、ということも含めまして提案をいたしましたので、またその提案を先送りしたという経過もございまして、新居浜市の場合は先ほど申し上げましたごみの有料化についての再提起から検討する必要があると考えております。

(コープえひめ)

現時点では検討はされていないということですか。これから検討しますということですか。

(事務局)

具体的にスケジュールを立てるところまでの検討は今のところございません。

(コープえひめ)

ただ、重点項目としているということから、何らかの形で指定ごみ袋の導入をすることで、平成32年ですかね、そこまでにはその方向で検討を進めるということですね。

(会長)

前回は自治会等から要望があったのですが、まだ減量化に取り組める余地があるのではないかとということで、有料化以外の方法で取り組む方向で今のところは進めておりますが、やはり有料化というご意見もありますので市民の方との会の中でご意見をお伺いしながら継続して検討してまいります。先送りから3年が経過いたしましたので、これから直ちに実施するという事は難しいと考えております。

(フジ)

2番の足並みを揃えるということについては非常に重要な部分ですが、ここにあります「条例化する場合の対象事業者」というのはどの程度を考えられているのでしょうか。

(事務局)

今現在、条例化を行っている自治体が全国で5団体ほどあるのですが、対象事業者の範囲設定の仕方につきましては、年間にレジ袋を20万枚以上使用する事業者さんを対象に目標を立てていただいて毎年の削減枚数をご報告いただく、という方法がほとんどです。人口の多い自治体が制定しておりますので、新居浜市が同じ方法で制定する場合は人口規模でいうと10万枚の設定になると考えております。10万枚で設定すると市内のコンビニもほとんど入ってくると思いますので約80店舗が対象になります。また、店舗面積で対象店舗を設定している条例もあります。

(フジ)

レジ袋削減の目標設定と使用枚数の報告を義務化するということですね。

(事務局)

導入している自治体の各店舗のマイバッグ持参率はコンビニで20%前後、スーパーでもレジ袋の無料配布中止をしていない所は30~60%となっています。取り組みの仕方に対して罰則はございませんし、目標を立てていただいて報告をしていただくことを義務化して、報告の無い事業者には罰則があるのですが、取り組みが不十分な事業者さんについては事業者名を公表するところまでで罰則は適用できません。ですから、現在レジ袋無料配布中止の取り組みを義務として対象となる事業者さんに実施していただく、というところまでは条例に規定することはできません。

(環境市民会議)

もともとレジ袋の削減はごみの減量化につながるし、CO2削減もあるということで始まったと思うのですが、条例化した自治体の条例化する前と後でごみの量はどのようになっていますか。

(事務局)

実績として数字があるのが杉並区で、後埼玉県川口市と新潟県佐渡市、島根県出雲市がレジ袋削減条例を制定していますが、ごみの減量率については全国的に減少傾向にありますので、レジ袋削減の取り組みをしたことでごみの減量効果がどれだけ、というのは無かったと思います。レジ袋の削減枚数から削減分の重量を出すことは可能ですが。目的としましては、この取り組みをきっかけに不要なものはもらわないようにしましょう。ごみを減らしていきましょう。ということですので。

(環境市民会議)

人間って効果がありますよとか褒めて育てるとか、説得して行くときに資料とかで状況が見えると説得力があると思います。1年や2年で結果が出たりする取り組みではないと思いますが取り組む団体が増えて行って、少しでも地球のために良くなりますと大風呂敷を広げるような言い方でお願いしても、「はい、すぐに取り組みましょう。」などと言う人はそうはいないと思います。

(会長)

条例化に取り組むとなりますと、市民への広報、パブリックコメントで市民の意見も反映させる、聞いてということとなりますので今までの活動とは変わった形で市の取り組みをお伝えすることはできると思います。そういう意味ではメリットがあると私は考

えているのですが。

(環境市民会議)

条例化に行くまでのプロセスが色々あるでしょうね。地域性もあったり。

(商工会議所)

新居浜市は清掃センターの焼却炉も良くなって、ナイロンや発泡スチロールなども汚れたものは燃やすごみで出してもいいですよ。そういう意味ではCO2の問題等はどうなのでしょうか。

(事務局)

基本は国の仕組みである容器包装リサイクル法に基づいてプラスチックをリサイクルするという分別方法です。ただ、一つはリサイクルするものですから品質の悪い物は受け取ってくれませんので、汚れを取り除いてください、というのが基本ですが、どうしても汚れののこないものは燃やすごみで出してもかまいませんというスタンスです。後容器包装以外のプラスチックは費用も含めたリサイクルをする仕組みがございませんので、燃やすごみとして扱っております。結果、埋立するためにプラスチックを分別収集していた時代と比較しますとプラスチックの焼却量は増えております。ただ、そのようなことに対応するために焼却施設はガス処理等も含めて高度なものにしております。現在多くの自治体を実施しているのが容器包装リサイクル法に基づくプラスチックの資源化です。リサイクルの費用が事業者負担でされるという仕組みになっていますので、その仕組みの中で実施している自治体がほとんどです。対象品をいかにきれいな状態にしてごみとして出していただくかということは今から徹底して行かなければならない、と色々なところでご意見を頂いているところです。その広報を工夫する必要があると考えております。

(会長)

続きましてレジ袋無料配布中止の実施方法についてですが、本日は参加されていないのですが木村チェーンさん、ママイさんからお話もあったのですが、木村チェーンさんについては川東店のみで実施していた、レジ袋の販売代金を料金箱へ任意に入れていただきその代金を新居浜市環境保全基金へ寄附する方式を11月から全店舗で実施する。というお申し出だったのですが、現在のところは、川東店と同じような方向に進んでいくとのこと。今後マイバッグの持参率がどのように推移していくかにもよると思うのですが、この取り組みにつきまして協定書に明記している「レジ袋無料配布中止」として支援して行ってよいのかどうか、その辺のご意見をお伺いしたいのですが。

(消費者友の会)

せっかくレジ袋無料配布中止の方向で進んでおりますし、木村チェーンの取り組みも問題なく進んでいるようですので、このままやってみて良いのではないかと思います。

(会長)

10月のキャンペーンでは80%以上のマイバッグ持参率を確保されておりましたし、定着はしているかなと思います。

(消費者友の会)

お店でも「今日は忘れたからレジ袋買います。」と言われる方を見かけます。ですからこの取り組みは定着していると思いますので、今すぐに見直すのではなくてもう少し続けて行けば良いのではないのでしょうか。

(商工会議所)

木村チェーンのやり方でも良いとは思いますが。環境保全基金というのとはどのような形で使われるのですか。

(事務局)

環境に関する市の事業予算として使わせていただいております。今年度ごみ減量課では生ごみ減量推進のための講習会に関する費用、環境保全課ではみどりのカーテン事業、新居浜市地球高温化対策地域協議会でのキャンペーン活動に使用させていただいております。

(コープえひめ)

足並みを揃えるという点で言えばどうかと思いますが、だめ、ということになれば木村さんは協定から外れるということになりますので、今まで継続してきたことを考えますと先々厳しくなると感じております。現時点でもマイバッグの持参率は8割くらいを維持されているということですか。

(事務局)

10月の時点ではそのようにお伺いしております。料金箱はレジのすぐ横にございまして、レジの方ではお客さまが申し出られたときにレジ袋をお渡しして料金箱の方へ代金をお願いします。という方法を取られておりました。あくまで見た範囲なのですが。レジ袋の代金につきましては、今回は東北での震災義捐金として寄附されたということですので。

(フジ)

私も見学させていただいたのですが、興味深かったのはマイバッグを持参されている方も募金されておりました。そういう点では本来の環境保全基金ということになっているのですよね。善意の気持ちで寄附していると、その中にはレジ袋をもらった人も入っているしそれ以外の人も入っている。個人的な意見ですが、消費者から見たら寄附したものが直接基金に回っているという感じにはなるかなと思っております。お釣りの小銭、10円玉を入れている方も結構おられたと思います。

(会長)

市としましては、レジ袋無料配布中止という中でのやり方として色々なやり方があってもいいのではないかと考えておりますので、それぞれ事業者さんの取り組みやすい方法もあればご提案も頂きたいと思っております。できましたらこれまで続けてきて頂いておりますので、木村チェーンさんのやり方もお認めいただければと思います。

(マックスバリュ)

今日は事業者の出席が少ないので残念なのですが、当店ではレジ袋を5円で販売しておりますが1種類しかありません。今まで無料でお配りしていたものよりも厚くて繰り返し使ってもらえるようなものをご用意させていただいて、5円で販売してもお客さまに納得いただけるように努めております。レジ袋は、皆さんが言われるとおりがみ出しに使えるからなかなか減らないと思いますし、レジ袋の無料配布中止をしたことによってどれだけ環境に効果があるのかと言えば、多分ないと思います。レジ袋無料配布中止の最初の目的、これをこうするためにこうしましょう、だからレジ袋の無料配布は中止したのですよ。というようにすれば、事業者、市民も動きやすいのではないかと思います。もう一つはお年寄りが困るから新居浜のごみ袋は有料化にしない、というのは小さい子どもは納得しないと思います。小さい子どもたちのために今のお年寄りが何をしてくれるのか、ということをお話しなければ、今のお年寄りが便利ならそれでいいのかということになりますので、そのためにごみ袋は指定するしレジ袋を無料で配布しても意味がない、というように筋を繋げていくと色々な方が協力してくれるのではないかと思います。

(環境市民会議)

私も基本理念を揺るがさないで、実施する中で不具合が出てきた場合にどこを調整するのか、無料配布中止をスタートした時の意識といたしますか、盛り上げといたしますか、その時の基本を崩さないで検討する必要があると思います。私は買い物にはマイバッグを持って行くように気をつけているのですが、どうしても忘れてしまうことがあって、その時は5円で買いますし意識が変わってきたらその方がすっきりしていいと思います。

その時に5円でも10円でも寄附するというのは、少し違和感があるのですが。

(会長)

金額の大小ということではなくて、レジ袋を購入いただいた代金というのは環境に役立っているということをしてPRしたい、ということで環境保全基金を創設しております。まず、市民の皆さんがレジ袋をもらわない、という方向に持って行くというのが第1の目的だったと思います。レジ袋が一番ごみとして捨てられている、それから環境も害している、川に流れたりレジ袋の中にごみが入れたりしたものが多い。環境面、ごみの減量面においてレジ袋を削減して行きましょう、ということでレジ袋削減の協定に結びついたのではないかと考えておりますので、第1の目的はごみを減らすということで、そのための方法としてはやはり1つに絞れるのがいいのですが、事業者さんに負う面が大きいので事業者さんの負担というものは考えて実施することが必要ではないかと思っております。強制的に新居浜市の事業者さん全てにさせていただくということができればいいのですが、なかなかそこは難しいので、その中でどのような方法があるかということをお知恵を借りて進めて行くしかないと考えております。

(グループさつき)

一つが離れてしまうと崩壊になってしまうのではないかとこの危機感を持っています。できれば頑張ってもらいたいとは思いますが、先ほどごみ袋の有料化はできないとおっしゃいましたが、ごみ袋の有料化ということをお知らせして打ち出して、レジ袋についても企業さんに考えてもらうという姿勢が必要なのではないかと思っております。ここで木村チェーンさんのやり方を認めるかどうかを検討する以前に、色んな反対があってもごみ袋の有料化をしないと何にもならないと思っております。根本的な問題です。何のためにやるのか、二酸化炭素を減らすのかということをお考えたら少し脇道に逸れて行くような気がします。せっかくしてきたことをダメにしてしまうのではなくて、探っていくことが必要ではないでしょうか、私たちの生き方を問われている問題だと思っております。

(会長)

ごみ袋の有料化については、必要だという認識は行政も持っております。それに対する取り組みを市民の方に理解いただけるような方向というものを我々行政が考えなければならぬと思っております。その中でごみの減量課施策の一つとしましては、このレジ袋の削減も途絶えることなく継続していきたいと考えておりますので、その方法として色々の方法を取って行きたいと考えております。足並みは揃っていませんが、事業者さんのご協力もあってせっかく新居浜市で実施できたので、ここでどんどん減っていくようなことにならない方向を模索していくことが必要であると思っております。その中で市民の皆さんに本気で取り組んでもらえるように、行政としてPRしていく必要があると

感じております。

(消費者友の会)

前回の会で、会社の方針があるけれど地域で市民の方に馴染んでいただくのが大切なので、地域に応じた活動には参加したいと業者の方がおっしゃったと思うのですが、私はこの活動は旗を振ったからすぐに大きく変わるものではないと思います。私も毎回キャンペーンに参加させていただいているので分かりますが、お客さまに「何をやっているの」と言われることもございます。本当に息の長い運動で、新居浜市の方が環境意識は他の市よりも高いねと実感できるようになればそれで成功で、全体でマイバッグの持参率が80、90%になるというのは逆におかしいと感じています。きちんと調べたらそんなにはなっていないと思います。それが普通であって、新居浜市民の環境意識が高ければ子どもは親の背中を見て育ちますから子どもへの影響力もあるし、そういう思いで、駆け足でなくても本当にゆっくり歩くくらいで進めて行けばいいのではないのでしょうか。13万人程の市民の方がおられてそんなにうまく行く訳がないですよ。今はなかなか商品が売れなくてお店は本当に大変だと思います。だから、それぞれお店に合ったやり方で無理しないで実施したのでいいと思っています。意識の高い人ばかりではないですから、色々な方がいらっしゃいますから。

(グループさつき)

根本的にごみ袋が有料化になったらレジ袋でごみが出せないの、ごみ袋が有料化になっても変化がないという所もあるかもしれませんが、有料化は県内でもたくさんしていますし、ですからごみ袋の有料化とレジ袋の削減と両輪でやればもっとうまくやれると思います。確かに色々な厳しい面もたくさんあって皆さん大変だと思います、企業の方も本当に大変だと思いますし、私たちも企業のおかげで食べて行くこともできると思うのですが、物事を成就させるためには色々なやり方を工夫して、今の話でしたら一つのことだけを進めようとしてもなかなかできないと思っています。ごみ袋の有料化が通ると実態は大分変わってくると思います。

(コープえひめ)

私も同じ意見です。レジ袋無料配布中止の取り組みを進める前提はごみ袋の有料化といますか指定袋制度があって、そのことと合わせてのレジ袋無料配布中止だったと思います。そういう仕組みの中でなければ消費者もなかなか動けない所もありますし、環境面も悠長に構えている状況ではございませんので、市としてリーダーシップを持って、総合計画のごみ袋の指定制度の部分は3年前には理解がいただけなかったかもしれませんが、もっと他の方法があるのではないかと、もっと理解していただくためにということを取り組んで欲しいと思います。今はできません。というのは何なのだろうと思います。

ごみ袋の指定制度から始まらなければ、事業者としては厳しい。木村さんもやむにやまれずこういうやり方に変更したのだと思います。厳しい状況ですから、やっているところとやっていない所があるというこの不公平感っていうのは、事業者はみんな持っていると思います。本当に環境のことも考えたらレジ袋の無料配布中止とごみ袋の指定制度を合わせて、両方並行して進めていただかないとレジ袋だけではなかなか前に向かって進まないと思います。

(会長)

当初はごみ袋の指定袋制度とレジ袋の無料配布中止がセットで動いていたのが、片方だけ残ってしまった形になっておりますので、その辺は両輪という形で重点的に取り組んで行きたいと考えております。直ちにとというのは難しいので、ごみ袋の有料化に向けては継続して検討してまいりたいと考えております。条例化につきましても市民の皆さんに認識していただくという中では必要だとは考えておりますので、こういった内容にしていくかということにつきましても、もう少し具体的にお示しできるようにしていきたいと思っております。今日は結論を出しにくいかとは思いますが、木村チェーンさんの方法につきましては今後とも今のような状況で進めて行っていただくということでよろしいでしょうか。

(フジ)

そのことについては、事業者は言えませんよ。よろしいでしょうかと言われてもそれは木村チェーンさんの問題なのであります。

(会長)

協議会としてどうかということでご意見だけお願いしたいのですが。

(環境市民会議)

いいのではないのでしょうか。そもそもレジ袋は事業者さんのサービスの一環だと思います。根本的な考え方はお客さまにどのようにサービスを提供するか、それがレジ袋の無料配布だった訳で、仮にこれが有料化になったとしてもマイバッグを持って来ない人はずっと持って来ないと思います。さっき言われたように形はどうであれ、レジ袋削減協定の理念を木村チェーンさんが理解されて今回のようなやり方を取られるのであればそれではかまわないと思います。さっきごみ袋の有料化のことも言われておりましたが、確かに前回の市長選のときにその話が無くなったのですよね、あれから4年になろうとしますがまだその話はでき来ない。ですから、今この場でその話を議論しても解決はないと思います。ですから形はどうであれこの理念をわかってもらって、色んな企業さんに応じたやり方で実施していただければいいのではないのでしょうか。

(会長)

それでは協議会として木村さんの方法も認めて取り組んで行ってもらおうということでよろしいでしょうか。そういうことでやらせていただきたいと思います。次にママイさんの件なのですが、12月上旬にフレッシュバリュー新居浜店を改装オープンするというので、5店舗全店でセールを予定しているということでございます。そのセールの期間中についてはレジ袋を無料で配布したいというご連絡がございました。ただ、期間終了後の対応については未定ということですので、その状況を見て再度協定に参加いただけるのか離脱やむなしとなるのか、それにつきましてはママイさんからご連絡があり次第皆さんにご報告させていただきます。それと他の事業者さんにも協定の範囲内での見直しというようなご意見があればということで、現時点で何か取り組みや予定等ございましたらお伺いしたいのですが。

(フジ)

キャンペーンは当然継続していただきたいのですが、先ほどから議論しておりますごみの有料化、これに対して全面的に進めて行って欲しいと思います。レジ袋の削減と両輪でということが始まったことでございますから、今は片輪走行している訳ですから。ママイさん木村さんが今後どうなるのかわかりませんから。他県でも崩壊してしまっている所もございますので。キャンペーンを継続していただいて、ごみの有料化の方も進めていただきたい。2、3年以内に実現の見通しくらいは立てていただくとか、ある程度、3年後にとか具体性が無いと説得できないですね。本当にごみ袋の指定袋化の実現はゼロなのでしょうか。

(会長)

今のところは白紙に戻っておりますが、方向性として必要であるということは認識してやっております。

(フジ)

極論を言わせていただくと、それができなければ止めると言ったらどうですか。新居浜市は大変なことになりますよ。この件はそのくらい引き合いに出さないと、それができないのであれば我々も解散するというくらいの強い姿勢で行かないと。

(グループさつき)

事業者から基金へ寄附いただいているでしょ。極端な言い方をすると行政だけが得していて企業だけが損している感じですよ。もっと行政がしっかりしてもらわないと困ります。

(会長)

当初はごみ袋の有料化とレジ袋の削減が一体として進んでおりましたが、その辺りはもう少し認識を改めて原点に戻って取り組んでまいりたいと思います。

(フジ)

愛媛県で唯一無料配布中止を実施している市ですから。

(環境市民会議)

皆さんで市長に要望書を持って行ったらどうですか。

(フジ)

この場に市長にも来ていただけたらいい、四万十市では市長と話をしていますよ。愛媛県でせっかくやっているから是非広げないと、これが萎んでしまうと松山市は全くその気が無いからです。

(会長)

その辺は市長会等で取り上げていただいて、市町の方を固めて行って県にも動いて頂けるように働きかけたいと思います。

(フジ)

西条市、四国中央市あたりが実施すると県も考えると思うのですが。

(グループさつき)

今治もやっているでしょ。

(フジ)

東予地域がやると県も何とかしなければならなくなると思います。今は縮小傾向にあるから是非お願いします。

(マックスバリュ)

市長の公約にごみの有料化は無いのですね。

(会長)

その中には無かったと思います。

(マックスバリュ)

無料で続けようということも言ってないのですね。フジさんのおっしゃるとおりだと思います。レジ袋削減協定が崩壊した地域でもイオングループの企業が協定から離脱したという前例はないので、始めたからには続けて行かなければなりませんが大変厳しいです。世の中が大変厳しいですし、レジ袋が無料のところもあるし、2年経ちますが公平ではないです。ごみ袋有料化の見通しでも付けていただければ変わってくるのではないかと思います。企業の負担を取り除く努力をしなければ続かないと思います。

(会長)

ごみ袋の指定袋化が業者さんの要望の第1ということで、その辺は市長にもお話して原点へ立ち返って進めて行きたいと考えております。後、イオンさんからは今後も継続して取り組んで行きたいとご連絡を頂いております。

それでは24年度のキャンペーンについて事務局からご説明させていただきます。

事務局説明

(会長)

来年度は、協定に参加いただけていない事業者さんの方でキャンペーンを実施させていただきたいと考えております。ただ事業者さんには都合もございませうから実施させていただけるか否かも含めまして協議を進めて行きたいと思っております。5月から12月の間実施する方向で考えております。また、地球高温化対策地域協議会でのキャンペーンも予定しておりますが、キャンペーンの実施につきましてはできるだけお客さんの多い日時での実施について協議させていただいて、実施日時を決定したいと思います。防犯啓発につきましても来年度の活動で進めて行きたいと思っております。24年度のキャンペーン等につきましてもご意見はございませうでしょうか。

(消費者友の会)

スーパーとかドラッグストアへはキャンペーンの実施を依頼しているのでしょうか。

(事務局)

今年度、地球高温化対策地域協議会で実施したキャンペーンでは、無料配布中止にご参加いただけていないスーパーさん2社ではキャンペーンを実施させていただいて、ドラッグストアさんとホームセンターさんでのキャンペーンの方は、業務形態上実施は難しいということで実施しておりませう。のぼりはドラッグストアさんへ立てていただいております。ですので、来年度につきましてもそれぞれお店にお願いをして承りたいたところで実施させていただくということになります。

(消費者友の会)

この頃ドラッグストアといっても何でもありますから、お野菜も売っておりますのでドラッグストアへも是非お願いしていただきたいと思います。

(フジ)

マイバッグに関して言えば、店内カゴにマイバッグをセットすれば商品を直接詰めることができます。詰めるのに時間が掛って並んでいるお客さまを待たせてしまうことがございます。お店が混んでいなければ詰めるのですが、その対応が課題になっています。商品が盗られるということについては、マイバッグになったから増えたとはあまり聞いておりませんので、店内カゴの持ち帰りにつきましても以前からありましてマイバッグになって特段増えたというものではございません。逆に精算時間増加が課題になっております。入れる順番等気をつける必要がございますので、通常のは掛っていると思います。

(マックスバリュ)

キャンペーンについては、無料配布中止をされていないお店で実施いただくことは効果が出ると思います。ポスターもマイバッグで買い物したらおしゃれだな、スマートだなとか、環境に貢献しているよね、といった感じのポスターの方がいいと思います。防犯ポスターの方は、マイバッグを持ってきたら何か悪いイメージになってしまうので、もう少し明るいイメージのおしゃれだなとなるようなポスターの方がいいと思います。

(フジ)

私どももマイバッグのデザインを見直しておしゃれなものを作りたいと考えているところです。

(消費者友の会)

お店にお願いしたいのですが、安ければ良いといった感じのマイバッグがたくさんあります。おしゃれなものを置いて欲しいのですが、なかなかそういったものは売れないのですか。

(フジ)

試みたことがあるのですが、その頃は、まだマイバッグが普及しておりませんでしたので、今から少し力を入れていこうと考えているところです。百貨店には割とおしゃれなものを置いていたりするのですが。

(会長)

それでは24年度は、このような方針でキャンペーン等の活動を進めて行きたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。それでは、議事以外で何かご意見はございませんでしょうか。

(グループさつき)

来年度のキャンペーンで無料配布中止をしていない店舗で実施されるとのことですが、いきなりレジ袋の無料配布中止と言っても難しいと思います。スーパーであまりお弁当類は買わないのですが、買った場合はお箸などを必ず付けてくれたのが最近「お箸ありますか。」と必ず聞かれます。ですから少しずつやってみて行くといいですか、向こうも経費が減りますし地球のためにも良いのだから少し考えていただけたらと思います。このような活動が始まる前は私の家もいっぱいレジ袋が溜まって、あれだけのものがごみになって原料もかかりますし、それをごみにして燃やす、その費用もかかる訳ですからレジ袋の削減を少しずつ広げて行く方法はないものだろうかと思っております。

(フジ)

声掛けキャンペーンはいいと思います。コンビニさんも最近「ありますか。」と声をかけられていますし。消費者に対してはマイバッグ、事業者に対しては声掛けをお願いしていくのはいいと思います。

(会長)

貴重なご意見をありがとうございました。また、店舗を回るごとにそういったお話もさせていただきたいと思っております。

本日は長時間にわたりありがとうございました。来年度に向けて市も努力してまいりたいと思っておりますので協定の継続と活動へのご協力をよろしくお願いいたします。次回の開催は決まっておりますが、日程等も事前に調整させていただいてお知らせさせていただきます。ごみ袋の指定袋化、レジ袋削減の条例化等も今後検討してまいりますので内容がある程度進捗した時点でご連絡させていただきます。ママさんの状況もお知らせしたいと思っておりますので、次回の開催は未定でございますがご連絡させていただきますのでご参加をお願いいたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。